

市政に対する

一般質問

今定例会では、11人の議員が9月4日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 幸手市デマンド交通について
- 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について

本田謡子議員

- 子どもたちの安全対策について
- 防災について
- ふるさと納税について

宮杉勝男議員

- アスカル幸手駐車場について
- 治水対策について

松田雅代議員

- 事務処理の遅滞について
- 全国学力・学習状況調査結果分析について
- コミュニティ・スクールの取り組みについて
- さってしシティプロモーション事業の推進について

中村孝子議員

- 駅舎整備事業後の重点事業計画と財政計画について
- 人口減少後のまちづくりについて

大平泰二議員

- 古川橋架替工事と民地嵩上げ問題
- 可燃ごみ委託問題
- 橋上駅舎・西口土地区画整理
- 中島用悪水路土地改良区補助金不正交付問題
- 治水対策について
- 九郎右エ門集会所建設補助金

小林順一議員

- ドローンの活用について
- 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について

青木章議員

- 小中学校のトイレ洋式化について
- 東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について
- 英語教育の強化について

木村治夫議員

- 幸手駅西口土地区画整理事業地内の調整池整備状況について
- 空き家に関する市の取り組みについて
- 市内土地の雑草繁茂対策について

大山重隆議員

- 地域包括ケアの推進を求める決議(平成28年12月22日)の達成状況について
- 「介護施設への入所」について
- 「地域包括支援センター」について

武藤寿男議員

- 市の行政と市長、職員、議会の役割と責任について
- 行政事務執行の公正性と公平性と責任について

今後の幸手市デマンド交通は



小林啓子議員

Q 現在、デマンド交通利用者から、予約が取りづらいつの声を聞く。見直しをしたことについて伺う。

運転免許証を自主返納された高齢者に対し、今後幸手市としての様な支援をするのかを伺う。

市長は、現在のデマンド交通システムを踏まえて、今後、ど

のように幸手市民のために運行をしていくことが望ましいのかを伺う。

A 限られた便数の中で、時間をまたいだ予約・運行が出来るようにシステムの変更とともに、乗合率を高めるため、乗降にかかる時間の設定変更を行った。

運転免許証を自主返納された高齢者の方を対象に、来年1月からタクシージェットを交付す

る事業を行う予定でいる。
高齢者を中心とした市民の日常生活を支えるための公共交通となるよう、利用者全体のご意見を伺いつつ、今後さらに利便性と効率を高めるための、見直しを図っていく。

(市長、市民生活部長)



市は避難行動要支援者を守れるのか



本田謡子議員

Q 幸手市は、避難行動要支援者（要介護認定者・身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者などのうち、避難することが困難な方で支援を要する方）の名簿が作成済である。

しかし、個別計画は策定中なので、防災訓練等での活用はまだまでである。今、突然災害が起きて誰も守ることが出来ない。

早急に個別計画を策定し、自主防災組織や地域の方々の協力のもと、避難行動要支援者の防災訓練が必要と考えるが、これからの市の対策を伺う。

A 避難行動要支援者の個別計画については、福祉部門と連携のうえ、今年度中には計画の概要を決定し、民生委員

や自治会、地域の自主防災組織など外部への情報提供に対する同意を名簿登載者よりいただき

ながら、出来るだけ早期に作成したいと考えている。

避難先となる福祉避難所については、避難者受入の訓練の実施等の支援を進めるとともに、市防災訓練において、避難者の福祉避難所への引渡しを想定した訓練を実施する予定である。

(市民生活部長)



アスカル幸手駐車場の件



宮杉勝男議員

Q 以前一般質問で、改善していききたいとの答弁を頂きましたが、現在までなんの變化もないので、次の事を伺う。

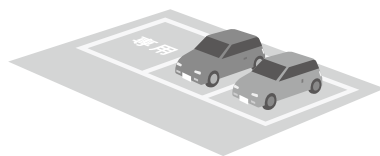
- ① 幸手市で考える改善方法はどのようなものか、具体的に伺う。
- ② 改善を行う上で、問題点について伺う。
- ③ 現在まで進捗しんちよくをしていることがあれば、その状況について伺う。

A ①アスカル幸手周辺に駐車場を整備することが、施設利用の利便性向上のひとつの改善方法であると認識している。

- ②アスカル幸手周辺については、農業振興地域の整備に関する法律の制限等があり、駐車場など農用地区域からの除外が必要で、これが改善を行う上での問題点であると考えている。

③駐車場用地の選定とともに、農用地区域からの除外について、埼玉県をはじめ関係機関との調整を行っている。

(教育部長)



予習・復習に正しく取り組まれているか



松田雅代議員

Q 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をみると、幸手市でも全国と同様、応用問題が苦手な傾向は改善されておらず、さらに、時間・労力・財源を投入して進めている基礎基本の定着にも課題が残る。

結果をどのように分析しているか。また、目標を数値化して進める各学校の取り組みの目標

の達成状況を伺う。
また、家庭学習が結果に結びついていない。予習・復習について、今まで以上に丁寧な指導すべきと考えるがいかがか。

A 家庭での予習・復習の実現率については、小学校では81・1%、中学校では63・5%であり、共に県平均を上回っている。しかし、小学校では約20%、中学校では約35%近い児童生徒は依然として実施でき

ていない状況にあり、看過できない。また、中学生のスマートフォンスマートフォンの利用時間が県平均よりも長く、学習時間の減少の大きな要因になっており、家庭の協力を得、その解消にも努めてまいりたい。

(教育部長)



駅舎整備事業終了後の重点的事業の計画は



中村孝子議員

Q 28億4500万円の費用を掛けた橋上駅舎と自由

通路整備事業が、平成31年3月に完成予定で進行している。この事業終了後に、重点的に取り組む事業の計画があるのか、その財政計画はいかがか市長に伺う。

また、現在重点プロジェクトに組み込まれていて、有識者の

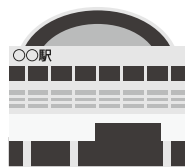
意見を聞いているという「庁舎整備事業」は進展しているのか。防災上も街づくりの観点からも市の中心施設である庁舎の整備計画は、早急に作成すべきと思うが市長に伺う。

A 橋上駅舎や自由通路整備の終了後においても、駅

西口地区土地区画整理事業や橋りょう改修事業、公共施設の老朽化対策や統廃合の検討など重要な事業が継続している。これ

らの事業については確かな財源を確保しつつ、現在策定中の第6次幸手市総合振興計画の基本計画の中で施策の重点化を行う。庁舎整備事業については、防災の拠点施設でもあり、公共施設個別計画の中で方向性を定めていく。

(市長・総務部長)



認められません税金の無駄使い



大平泰二議員

Q 市が、民間橋上駅舎完成記念式典に投入する予算

総額は1320万4千円で、東武鉄道の負担はありません。その内訳として、幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念式典業務委託料594万円。東西自由通路階段アート設置業務委託料126万4千円。西口駅前広場記念モノUMENT設置業務委託

料を600万円としながら、見積書も構図もない不透明な提案です。財政難に陥っているなかで、こんな予算は必要でしょうか。

A 幸手駅橋上駅舎、東西自由通路の完成、駅西口開

設については、幸手市にとって初めてであり、新しい幸手市の誕生ともいえる。その記念式典として可能な限り抑えた必要な経費として認識している。

西口駅前広場記念モノUMENTについては、駅西口広場の開設を記念するとともに、待合わせ場所やシンボリックなモノUMENTを設置することで、駅前の個性づくりが期待できる修景施設として必要であると認識している。

(市長・総合政策部長)



通学路におけるブロック塀等の安全確保は



小林順一議員

Q 大阪北部地震により、女子児童が自ら通学する学校の倒壊したブロック塀の下敷になり尊い命が失われた。

幸手市の学校施設における、ブロック塀等の安全上の問題のある学校は何校あったのか何う、安全性に問題のあるブロック塀等の改修工事着手の間の安全確保は、どの様にするのか何う、

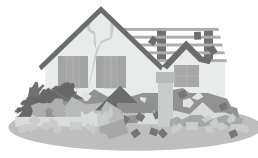
通学路に面している民間のブロック塀等の改修費用等の支援を、すでに実施している自治体のある中、幸手市としても支援すべきと提案するが所見を何う。

よう児童へ指導・注意喚起をしている。
民間のブロック塀等の改修費用等の支援については、今後、市長部局と連携を図り対応していきたい。

A 安全性に問題のあるブロック塀等を有する学校は上高野小学校、行幸小学校の2校である。

ブロック塀等の改修工事着手までの間の安全確保は、カラーコーン等で区画し、近寄らない

(教育部長)



東京オリンピック・パラリンピックの対応



青木 章議員

Q 東京オリンピックでのキャンプ地を誘致して欲しい。と私は一般質問等を通じて何度となく発言してまいりました。そんな中、幸手市はベナン共和国と東京2020オリンピックの競技大会を契機とした交流事業の合意に至りました。幸手市をあげての歓迎・文化交流・民泊・子供たちとの「ふれあい」

東京オリンピックでのキャンプ地を誘致して欲しい。と私は一般質問等を通じて何度となく発言してまいりました。そんな中、幸手市はベナン共和国と東京2020オリンピックの競技大会を契機とした交流事業の合意に至りました。幸手市をあげての歓迎・文化交流・民泊・子供たちとの「ふれあい」

など、さまざまな事業が想定されます。特に子供たちに記憶に残る素晴らしい事業をお願いしたい。また、聖火リレーが幸手市内を通るよう努力をして欲しいかががでしょうか。

A ホストタウン登録により、更にベナン共和国への事前キャンプ地誘致を進めたいと考えています。また、特に子どもたちとの「ふれあい」に関する交流事業については、小中学校

および駐日ベナン共和国大使館と調整を図り、オリンピック選手と子どもたちとのスポーツ交流やベナン共和国を理解するための文化交流等、子どもたちの記憶に残る事業を考えて参りたいと思います。聖火リレーについては、幸手市内がルートに選定されるよう、強く要望して参ります。

(教育部長)

幸手市内土地の雑草繁茂対策を問う



木村治夫議員

Q 市街地はもとより、市内全域に年々増加している農地または空き地の通年管理されていけない「管理不良状態」土地に対し、近隣住民は火災発生・

犯罪の誘発・ごみ不法投棄・衛生の悪化・悪臭の発生・樹枝の越境等、清潔な生活環境が脅かされている。そこで次のことを伺う。

- ① 現場の現状把握と確認状況を伺う。
- ② 苦情等の対応策またどのような実行されるのか伺う。
- ③ 問題課題に対する市の取り組みについて具体的に伺う。

A ① 近隣にお住まいの方からの相談やパトロールにより状況の把握に至った場合は、土地の所有者等を調査するなどして、状況の詳細な把握に努めている。

- ② 土地の所有者等に除草作業を実施するよう、文書や口頭により指導・助言を行っている。
- ③ 指導等を行っても早急に対応していただけない場合は、催告を重ねるケースもある。所有者等には土地の適正管理に関する必要性を十分に理解していただくことが重要であり、引き続き継続的な啓発に努めていく。

(市民生活部長)

介護施設に入所したくても入れない理由は



大山重隆議員

Q 私は、市民から「介護施設に入りたいが、費用が高すぎて入れない」という声を聞く。一番安く入れる特別養護老人ホーム(特養)でさえ月に15万円かかる。国民年金の月に5万円です、どうして払えまじょうか。現在、特養の定員は278人。入所者は181人で約100人空いている状況です。施設長

私には、市民から「介護施設に入りたいが、費用が高すぎて入れない」という声を聞く。一番安く入れる特別養護老人ホーム(特養)でさえ月に15万円かかる。国民年金の月に5万円です、どうして払えまじょうか。現在、特養の定員は278人。入所者は181人で約100人空いている状況です。施設長

に聞くと「入所費用が高く、国民年金の方ではとても入れない」と。また、在宅(自宅)で暮す場合でも、看護・介護サービス体制は、久喜市・杉戸町に遅れている。

A 施設への入所希望があっても経済的事情で入所を躊躇する方もいると思う。特別

養護老人ホーム等に入所の場合、所得に応じて居住費と食費が軽減される特定入所者介護サービス

ス費があるので引続き周知に努めていく。また当市でも、在宅生活を支えるサービスの1つである小規模多機能型居宅介護が平成31年3月に開設予定であり、現在公募中の定期巡回・随時対応型訪問介護看護に応募があった。今後必要なサービスの整備に取り組んでいく。

(健康福祉部長)

ドローン飛行操縦訓練の見学



ドローン操縦の様子

平成30年9月27日(木)にB&G海洋センターで、ドローン飛行操縦訓練を見学しました。災害時等の活躍に期待します。

9月定例会 会期日程

- 9月3日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月4日・5日・6日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 9月12日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 9月13日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
 - ・文教科常任委員会
- 9月18日・19日(委員会)
 - ・総務常任委員会
 - ・建設経済常任委員会
- 9月20日・21日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 9月28日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

9月定例会

傍聴者

31人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継
(ライブおよび録画)を行っております。

7月	1841件	8月	276件	9月	2663件
----	-------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

12月定例会のお知らせ

11月30日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.satte.lg.jp/>

自治の本旨と役割及び公正と公平の担保は



武藤寿男議員

Q

近年、不適正な申請書類の誤記や、補助金過剰交付事務など、市の事務執行が市民の信頼を損なう事案が多発している。

改めて市の自治の本旨とは何か、役割は何か、行政事務に直接当たる職員の責任とは何かなど、原点を認識する事が問われている。

A

公務員は、職務を遂行するに当たり、各法令を遵守し行動するよう求められている。

このことから、行政事務の公正性および公平性を保つために

市民の意思に基づき最小の経費で最大の効果を上げるべく、住民福祉の増進を図るために、公正性と公平性が求められているが、市はこれらを担保するために、どのようにされているか。

は、職員一人一人が法令や事業内容等をよく理解し、職務に対して日頃から高い意識を持ち、適正に事務処理を行っていく必要がある。また、組織においても、上司等複数の職員で文書の正確さ、内容、判断等をチェックし、迅速で確実な事務処理をすること、公正性および公平性が保たれるものと考えている。

(総務部長)